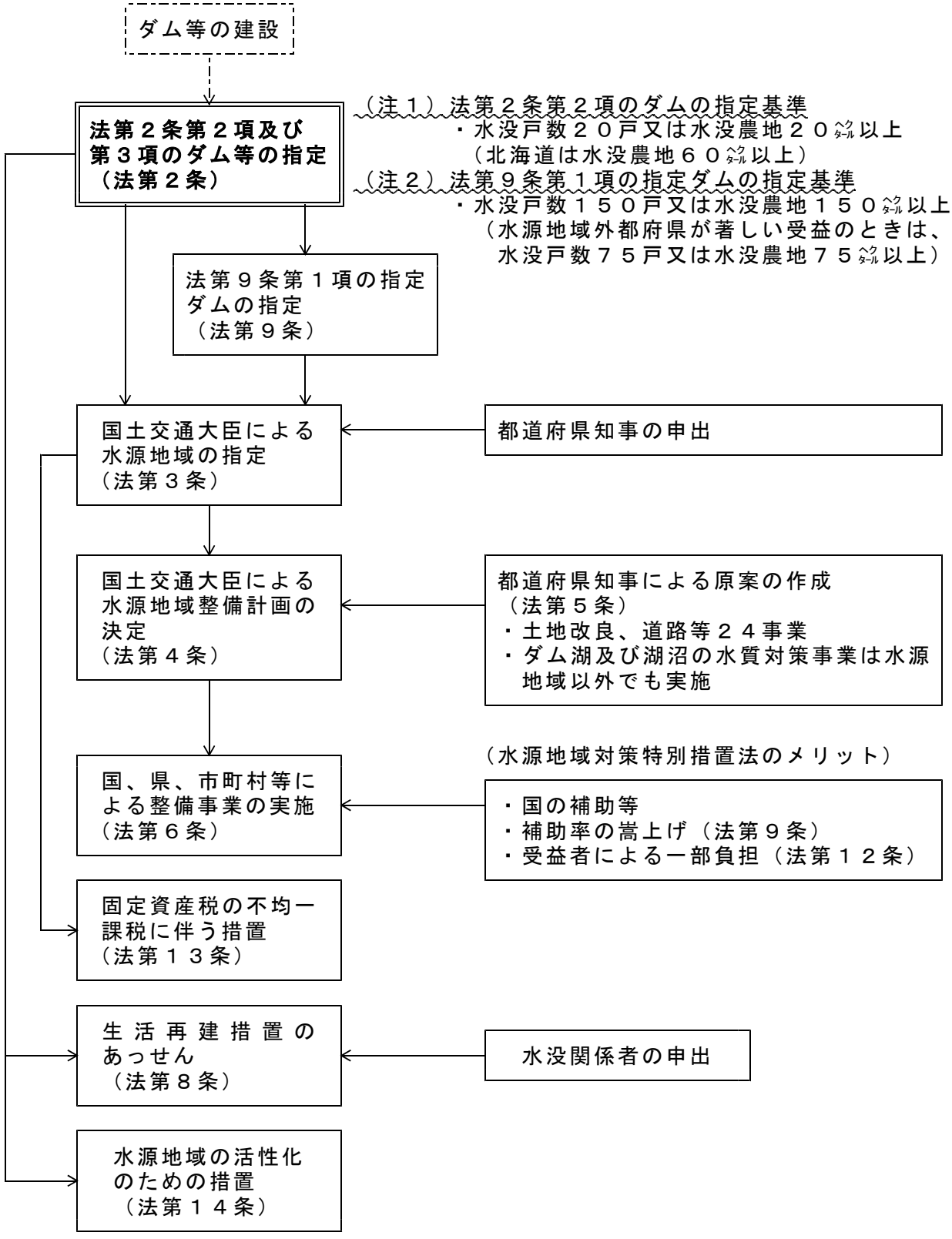
（参考）

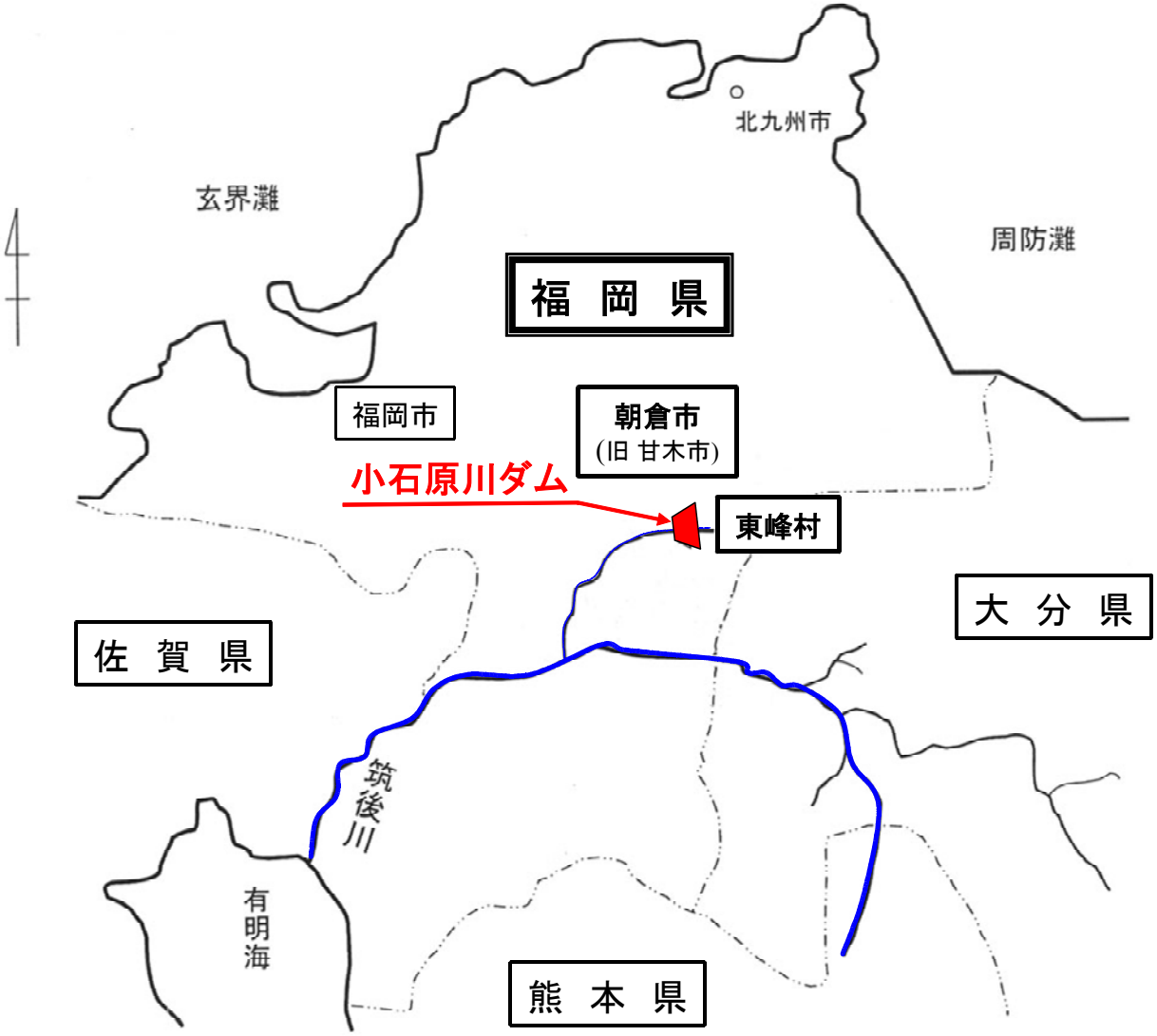
水源地域対策特別措置法の概要

〔水源地域対策特別措置法の目的〕

ダム等の建設によりその基礎条件が著しく変化する水源地域について、生活環境、産業基盤等を整備し、あわせてダム貯水池の水質の汚濁を防止する等により、関係住民の生活の安定と福祉の向上を図り、もってダム等の建設を促進し、水資源の開発と国土の保全に寄与する。



ダム位置図（小石原川ダム）



ダム指定予定ダムの概要

ダム名		小石原川（こいしわらがわ）ダム
ダム指定の適用条項		水源地域対策特別措置法第２条
水系河川名		筑後川（ちくごがわ）水系小石原川（こいしばるがわ）
事業主体		独立行政法人水資源機構
所管省		国土交通省
所在都道府県（所在地）		福岡県 左岸　：福岡県朝倉市（あさくらし）(旧甘木市（あまぎし）)江川（えがわ）地先 右岸　：福岡県朝倉市(旧甘木市)江川地先
水没地区所在市町村		福岡県朝倉市（あさくらし）(旧甘木市（あまぎし）) 福岡県朝倉郡（あさくらぐん）東峰村（とうほうむら）
水没戸数		３６戸
水没農地		１９．６ヘクタール
ダム諸元等	形式	ロックフィルダム
	堤高	１２９．０ｍ
	総貯水量	４０，０００千m^3
	事業費	約196,000,000千円
	目的	①洪水調節 ②流水の正常な機能の維持 （異常渇水時の緊急水の補給含む） ③水道用水（福岡県南広域水道企業団 ほか２市２町）
	主要水没公共施設	国　道５００号（４．６ｋｍ） 市　道　　（２．５ｋｍ） 林　道　　（２．０ｋｍ） 公民館　１カ所（江川東部公民館）

（経緯）

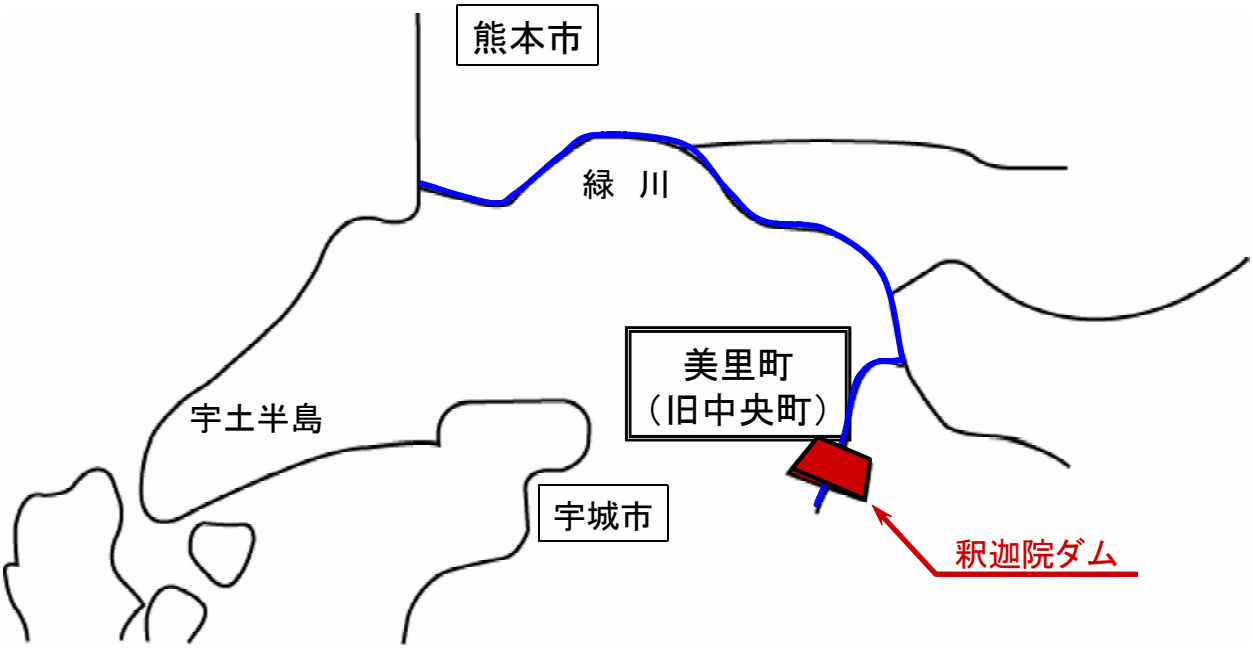
昭和５５年　度　予備調査着手

平成　４年４月　実施計画調査着手

平成１５年４月　建設へ移行

平成１８年３月　事業実施計画の認可

ダム位置図（釈迦院ダム）



ダム指定廃止予定ダムの概要

ダム名		釈迦院（しゃかいん）ダム
ダム指定の適用条項		水源地域対策特別措置法第２条
水系河川名		緑（みどりかわ）川水系釈迦院（しゃかいんがわ）川
事業主体		熊本県
所管省		国土交通省
所在都道府県（所在地）		熊本県 左岸　：熊本県下益城郡（しもましき）美里町（みさとまち）（旧中央町（ちゅうおうまち））岩野（いわの） 右岸　：熊本県下益城郡美里町（旧中央町）岩野
水没地区所在市町村		熊本県下益城郡美里町（旧中央町）
水没戸数		４１戸
水没農地		１６．８ヘクタール
ダム諸元諸等	形式	重力式コンクリート
	堤高	４３．０ｍ
	総貯水量	２，７４０千m^3
	目的	①洪水調節 ②流水の正常な機能の維持 ③水道用水（釈迦院ダム水道企業団）
	主要水没公共施設	県道　（２．７ｋｍ） 町道　（１．５ｋｍ） 農道　（１．８ｋｍ） 公民館　１ヶ所 簡易郵便局　１ヶ所 消防車格納庫　１ヶ所 簡易水道組合　１ヶ所

（経緯）

昭和５０年　４月　予備調査着手

昭和５７年　４月　実施計画調査着手

平成　２年　度　建設着手。熊本県と水道企業団が利水に関する基本協定締結。

平成１５年１１月　熊本県公共事業再評価委員会の答申を受け、熊本県が釈迦院ダム建設事業の中止を正式決定。

※ 中止理由は、地質調査など詳細な調査の進展に伴い事業費が増大し、河川改修の方が経済的に有利となったため。

平成１６年　３月　利水に関する基本協定の解除